

○ISO/TC 8/SC 1(救命及び防火分科委員会)担当分

議長: Mr. Robin C. Townsend (英国:LR)、幹事国: 米国(ANSI)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 799:2004	Ships and marine technology -- Pilot ladders	船舶及び海洋技術－パイロットラダー	パイロットラダーに関するIMO要件を補完するものとして取り纏めたもの。IMOの強制規則にはパイロットラダー承認のためのプロトタイプ試験についての詳細な要件が規定されていないため、本規格に記述されている試験方法は、IMO要件には含まれていないものであるが、IMOの強制規則及び本規格に記述されている性能要件への適合を確保するために必要と考え、取り纏めたもの。	2004.02.01.	JIS F 2615:2006 (MOD)
SC1	ISO/DIS 799-1	Ships and marine technology -- Pilot ladders- Part 1: Design and Specification	船舶及び海洋技術－パイロットラダー－設計および仕様	今日の船舶大型化に伴う規格改正作業である。第1部は、ラダーの材料、構造、試験および検査などについて取りまとめている。	DIS投票 実施中 2018.01.01 投票期限	—
SC1	ISO 3935:1977	Shipbuilding -- Inland navigation -- Fire-fighting water system -- Pressures	造船－内陸航行船－水消火装置の圧力	内陸航行船の消火のための水装置に対する設備、機械及び配管構成要素、即ちポンプ、付属品などの標準化及び選択に資する圧力について取り纏めたもの。	1977.01.15.	—
SC1	ISO 4001:1977	Shipbuilding -- Inland navigation -- Raft-type life-saving apparatus	造船－内陸航行船－いかだ型救命器具	内陸航行船用の固型式(非膨脹式)いかだ型救命装置の目的、材料及び主な技術的要求事項について取り纏めたもの。	1977.03.15.	—
SC1	ISO 4143:1981	Shipbuilding -- Inland vessels -- Open rowing lifeboats	造船－内陸航行船－無甲板手こぎ式救命艇	1974年SOLAS条約ではカバーされていない内陸航行船用の開放型手漕ぎ救命艇の型式、主な特性、設計要求事項及び設備について取り纏めたもの。	1981.05.15.	—
SC1	ISO 5488:2015	Ships and marine technology -- Accommodation ladders	船舶及び海洋技術－アコモデーションラダーズ	商船(客船を除く)に使用される船側はしご(舷梯)に係る要求事項及び試験の方法について取り纏めたもの。	2015.12.15	—
SC1	ISO 5489:2008	Ships and marine technology -- Embarkation ladders	船舶及び海洋技術－救命艇用なわばしご	救命艇乗込用なわばしごに関するIMO要件を補完するものとして取り纏めたもの。IMOの強制規則には乗込用はしご承認のためのプロトタイプ試験についての詳細な要件が規定されていないため、本規格に記述されている試験方法は、IMO要件には含まれていないが、IMOの強制規則及び本規格に規定されている性能要件への適合を確保するために必要と考え、取り纏めたもの。 【補足】 TC8/SC1総会(2016年5月24-26日)において、本規格案の改正を近い将来のうちに実施することに合意した。	2008.03.01. 定期見直し 投票終了 2016.12.05	JIS F 2617:2011 (MOD)
SC1	ISO/TR 6065:1991	Shipbuilding and marine structures -- Inflatable liferafts -- Materials	造船及び海洋構造物－膨脹式救命いかだ－材料	1974年SOLAS条約1983年改正第三章第30規則、第38規則及び第39規則並びに救命設備の試験に関する勧告で要求される膨脹式救命いかだの布地及び布地の試験要領の詳細について取り纏めたもの。 (注)ISO規格として制定することを前提に作業を進めてきたが、DIS投票の過程で膨脹式救命いかだの材料に関する会員団体の国内規則の要件(引張強度、引裂き強度、接着に関する要件等)のばらつきが大きく規格として制定することは困難であることが認識され、技術報告書(TR)として取り纏められた。	1991.11.15.	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 7061:2015	Shipbuilding -- Aluminium shore gangways for seagoing vessels	造船－外洋航行船用アルミニウム製ショアギャングウェイ	船舶から陸上への軽量で使い勝手の良い安全なアクセス手段として主として乗員が使用するアルミニウム製ショアギャングウェイ(タラップ)で船上に搭載するよう設計されたものの要求事項について取り纏めたもの。適用対象は水平又は30度以内の傾きで使用されるタラップで、これ以上の傾斜角で使用するものについては踏板、デッキに特別な配慮が必要である。	2015.12.15	—
SC1	ISO 7364:2016	Ships and marine technology -- Deck machinery -- Accommodation ladder winches	船舶及び海洋技術－甲板機械－舷梯用ウインチ	電気、油圧又は空気圧駆動式の軽動力ウインチ及び無動力ウインチの要求事項及び特性について取り纏めたもの。なお、ウインチ駆動用発動機の要求事項は含まれない。	2016.04.01	—
SC1	ISO/TR 14564:1995	Shipbuilding and marine structures - Marking of escape routes	造船及び海洋構造物－脱出経路の表示	フェリー、客船、貨物船などの船上脱出経路の表示についての実情を取り纏めたもの。 本件については、ISO/TC8/SC9(救命設備)(当時)に作業項目として提案され合意されたものの、IMOからIMOでの検討が終了するまで作業を延期すべきとの意見が表明されたため、事務局(日本)が独自に調査した結果、陸上交通、海上交通、航空それぞれの分野で本件に係る規格が制定されると無用な混乱を招くため、ISO/TC8として本件規格化を図る必要はないとの結論に至ったため、当該検討結果を技術報告書第3類型(最新技術等ISO規格がまとめられるべきものとは異なった性格を有する事項についてのデータを取り纏めたもの)として取り纏めたもの。	1995.12.01	—
SC1	ISO 15370:2010	Ships and marine technology -- Low-location lighting (LLL) on passenger ships -- Arrangement	船舶及び海洋技術－旅客船用低位置照明－配置	1974年SOLAS条約1996年改正第II-2章第28規則及び第41-2規則並びにIMO消防設備コードに規定する旅客船用低位置照明の承認、取付け及び保守に関する要求事項について取り纏めたもの。	2010.02.15	JIS F 8010:2007 (IDT)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO/AWI 15370	Ships and marine technology -- Low-location lighting (LLL) on passenger ships -- Arrangement	船舶及び海洋技術－旅客船用低位置照明－配置	1974年SOLAS条約1996年改正第Ⅱ-2章第28規則及び第41-2規則並びにIMO消防設備コードに規定する旅客船用低位置照明の承認、取付け及び保守に関する要求事項について取り纏めたもの。 【補足】 ISO/TC8/SC1東京総会(2017年5月23-25日)において、CD投票を実施するための決議が採択された。 <i>ISO/TC8/SC1 resolves to initiate Committee Draft ballot for ISO 15370 Ships and marine technology -- Low-location lighting (LLL) on passenger ships - Arrangement after the project leader submits the draft to SC1 secretariat.</i>	CD投票の準備中	—
SC1	ISO 15371:2015	Ships and marine technology — Fireextinguishing systems for protection of galley cooking equipment	船舶及び海洋技術－船舶用厨房調理器具保護のための消火装置	厨房フード、ダクト、揚げ物用鍋その他のグリース付着の器具を保護する消火装置ユニットの設計、試験、使用方法について取り纏めたもの。	2015.11.15	—
SC1	ISO 15372:2000	Ships and marine technology -- Inflatable rescue boats -- Coated fabrics for inflatable chambers	船舶及び海洋技術－膨脹式救助艇－気室用の防水加工布地	1974年SOLAS条約(改正を含む)、救命設備コード(IMO決議MSC.48(66))第1章1.2項及び第V章並びにIMO総会決議A.689(17)(改正を含む)に適合する救助艇の気室の構造に使用する防水加工布地に係る最低限の要求事項及び試験方法について取り纏めたもの。	2000.12.01.	—
SC1	ISO 15734:2001	Ships and marine technology -- Hydrostatic release units	船舶及び海洋技術－水圧離脱装置	膨脹式救命いかだ及び非常用位置指示無線標識(EPIRB)等の自己浮揚式の救命設備に使用される自動水圧離脱装置の性能及び試験に係る要求事項について取り纏めたもの。 【補足】 ISO/TC8/SC1総会(2016年5月24-26日)において、本規格を改正するためのNP投票を実施するため、以下の決議が採択された。 <i>The Subcommittee, following the recommendation by WG1 to open ISO 15734:2001 for revision, tasked the Secretary to ballot a New Work Item proposal and call for experts with necessary input from WG1. The scope to refer to the need for revision to include proper corrosion resistance requirements and testing requirements and any other revision deemed appropriate by WG1. The WG1 Convenor will be the proposed Project leader initially.</i>	2001.06.01.	—
SC1	ISO/NP 15734 (Ed 2)	Ships and marine technology -- Hydrostatic release units	船舶及び海洋技術－水圧離脱装置	膨脹式救命いかだ及び非常用位置指示無線標識(EPIRB)等の自己浮揚式の救命設備に使用される自動水圧離脱装置の性能及び試験に係る要求事項について取り纏めたもの。 以下の理由により改正が提案された。 - ISO 15734:2001およびSOLAS/LSA Codeを元に試験および承認されたHRUの事故が発生しており、試験手順が不十分な可能性がある。 - ISO 15734は旧型のHRU用に作成されたものであり、現在主流の使い捨てタイプを対象としていない。 - 不具合が報告されている切断装置(cutting device)の腐食よりも、ゴムの膜(rubber membrane)にフォーカスしている、等。	NP投票 否決	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 15736:2006	Ships and marine technology -- Pyrotechnic life-saving appliances -- Testing, inspection and marking of production units	船舶及び海洋技術－救命設備用火工品－製造ユニットについての試験、検査及び表示	IMOの救命設備の試験に関する勧告に従って評価、試験を受け、IMO救命設備コードにより型式承認を受ける救命設備用火工品の試験、検査、適合評価手順及び表示の方法について取り纏めたもの。この規格は、定期的に全ての原型試験を繰り返し実施するため、IMO救命設備の試験に関する勧告第2部第4節の要件には影響を及ぼさないが、この規格に適合することにより、主管庁が原型試験の実施頻度を決定する際に斟酌される可能性がある。	2006.01.15.	—
SC1	ISO 15738:2002	Ships and marine technology -- Gas inflation systems for inflatable life-saving appliances	船舶及び海洋技術－膨脹式救命器具のガス膨脹システム	1974年SOLAS条約(改正を含む。)及びIMO決議MSC.48(66)(救命設備コード)の要件に適合する膨脹式救命器具のガス膨脹システムの性能及び試験に関する要求事項について、IMO強制文書を補完するものとして取り纏めたもの。なお、ガス容器の品質、使用方法、試験に関する要件は各国様々であるため、この規格ではガス容器については対象外としている。	2002.02.01.	JIS F 2805:2006 (MOD)
SC1	ISO/AWI 15738	Ships and marine technology -- Gas inflation systems for inflatable life-saving appliances	船舶及び海洋技術－膨脹式救命器具のガス膨脹システム	日本主導で改訂作業に着手し、主に、ガスシリンダーバルブとカット装置の一体型にも言及した。この改訂案は、ISO/TC 8/SC 1総会の際に審議されたが、構成を改め再度、次回のボルドー会合にて審議する。	WD準備中	—
SC1	ISO 16437:2012	Ships and marine technology - Lifesaving and fire protection -- Atmospheric oil mist detectors	船舶及び海洋技術－救命及び防火－オイルミスト感知装置	船内で発生する引火性のオイルミストを検知するために設置される警報装置(オイル・ミスト・ディテクター)に対する要求事項、試験方法及び性能基準について取り纏めたもの。【日本主導】 ISO規格制定の5年後に実施される定期見直し投票が実施された(2017年4月15日～2017年9月4日)。SC 1メンバー間では、改訂を要望する提案はなかった。	2012.07.01. (制定) 定期見直し投票実施中 2017.09.04 投票期限	—
SC1	ISO 16706:2016	Ships and Marine Technology -- Marine Evacuation Systems – Load calculations for mooring and passage	船舶及び海洋技術－降下式生存艇乗込装置の係留と降下の荷重算定	降下式乗込装置(MES)の係留と降下の荷重算定方法について取りまとめるもの。	2016.07.15	—
SC1	ISO 16707:2016	Ships and marine technology -- Marine evacuation systems -- Determination of capacity	船舶及び海洋技術－降下式乗込装置－容量の算定方法	IMO救命設備コード及びMSC決議81(70)のPart1/12.6.1で定める手続きで要求される降下式乗込装置の容量の評価及び算定方法について取り纏めるもの。	2016.10.15	—
SC1	ISO 17338:2009	Ships and marine technology -- Drawings for fire protection -- Indications of fire rating by divisions for ships and high-speed craft	船舶及び海洋技術－防火に関する図面－船舶及び高速艇に関する区画ごとの防火等級の指示方法	船舶及び高速艇の防火のための防熱・構造仕切の防火等級の図面上のデザイン及び配置について取り纏めたもの。	2009.08.15.	—
SC1	ISO 17339:2002	Ships and marine technology -- Sea anchors for survival craft and rescue boats	船舶及び海洋技術－生存艇及び救助艇用シーアンカー	IMOの救命設備コードに従って生存艇及び救助艇に備えるシーアンカーの設計、性能及び原型試験方法に係る要求事項について取り纏めたもの。	2002.11.15.	—
SC1	ISO/DIS 17339	Ships and marine technology -- Sea anchors for survival craft and rescue boats	船舶及び海洋技術－生存艇及び救助艇用シーアンカー	ISO 17339:2002の改訂案を我が国主導で作成するもの。【日本主導】 【補足】 ISO/TC 8/SC 1総会(2017年5月23日-25日)では、プロジェクトリーダーが作成した改正案を審議し概ね合意した。更なるコメントに対応する修正版をプロジェクトリーダーが作成し、次回のボルドー会合で審議することになった。	DIS投票可決 2017.04.12	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 17631:2002	Ships and marine technology -- Shipboard plans for fire protection, life-saving appliances and means of escape	船舶及び海洋技術－船舶救命設備及び消防設備の図記号	消防設備、防火構造、救命設備及び脱出設備に関する船舶に備える図面の内容、型式、設計、配置及び使用方法について取り纏めたもの。これらの図面において使用される図記号及び挿絵についても記述している。	2002.02.01.	JIS F 0051:2003 (MOD)
SC1	ISO 17631:2002/Cor 1:2002	Ships and marine technology -- Shipboard plans for fire protection, life-saving appliances and means of escape	ISO 17631:2002正誤票1:2002	—	2002.06.15.	同上
SC1	ISO 17631:2002/Amd 1:2010	Ships and marine technology -- Shipboard plans for fire protection, life-saving appliances and means of escape AMENDMENT 1 -- Requirements specific to high speed crafts	改正1－高速艇に特化した要求事項	1974年SOLAS条約第X章に適合する商用高速船艇への適用が可能となるようISO 17631を改正したもの。	2010.05.01.	—
SC1	ISO/AWI 17631	Ships and marine technology -- Shipboard plans for fire protection, life-saving appliances and means of escape	船舶及び海洋技術－船舶救命設備及び消防設備の図記号	DCP(ダメージ・コントロール・プラン)に関する要件を追加するための改訂作業を実施予定。	NP投票通過 2017.05.15 WDを準備中	—
SC1	ISO/FDIS 18079-1	Ships and marine technology -- Servicing of inflatable lifesaving appliances -- Part 1: General	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第1部:総則	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命機器を整備するサービスステーションに関する一般要件について規定したもの。 【補足】 ISO/TC 8/SC 1(2017年5月23-25日)において、中央事務局のコメントおよび改正提案に関し、IMOの救命設備に関する規則に整合させることを確認する以下の決議を採択し、FDISの投票に向けた手続きを引き続き進めることになった。 <i>The Subcommittee strongly supports the WG1 views and agreed to the decisions with regard to the CS comments and suggested revision of ISO/FDIS 18079 series as to ensure the consistency with IMO instruments, and instructed the Secretary to inform the CS on this decision in processing for FDIS ballot.</i>	FDIS投票実施中 投票期限: 2017.10.23	—
SC1	ISO/FDIS 18079-2	Ships and marine technology -- Servicing of inflatable lifesaving appliances -- Part 2: Inflatable life rafts	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第2部:膨脹式救命いかだ	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命いかだを整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。 【補足】 ISO/TC 8/SC 1(2017年5月23-25日)において、中央事務局のコメントおよび改正提案に関し、IMOの救命設備に関する規則に整合させることを確認する以下の決議を採択し、FDISの投票に向けた手続きを引き続き進めることになった。 <i>The Subcommittee strongly supports the WG1 views and agreed to the decisions with regard to the CS comments and suggested revision of ISO/FDIS 18079 series as to ensure the consistency with IMO instruments, and instructed the Secretary to inform the CS on this decision in processing for FDIS ballot.</i>	FDIS投票実施中 投票期限: 2017.10.23	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO/FDIS 18079-3	Ships and marine technology -- Servicing of inflatable lifesaving appliances -- Part 3: Inflatable lifejackets	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第3部:膨脹式救命胴衣	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命胴衣を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。 【補足】 ISO/TC 8/SC 1(2017年5月23-25日)において、中央事務局のコメントおよび改正提案に関し、IMOの救命設備に関する規則に整合させることを確認する以下の決議を採択し、FDISの投票に向けた手続きを引き続き進めることになった。 The Subcommittee strongly supports the WG1 views and agreed to the decisions with regard to the CS comments and suggested revision of ISO/FDIS 18079 series as to ensure the consistency with IMO instruments, and instructed the Secretary to inform the CS on this decision in processing for FDIS ballot.	FDIS投票実施中 投票期限: 2017.10.23	—
SC1	ISO/FDIS 18079-4	Ships and marine technology -- Servicing of inflatable lifesaving appliances -- Part 4: Inflatable marine evacuation systems	船舶及び海洋技術－膨脹救命設備の整備－第4部:膨脹型降下式乗込装置	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹型降下式乗込装置を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。 【補足】 ISO/TC 8/SC 1(2017年5月23-25日)において、中央事務局のコメントおよび改正提案に関し、IMOの救命設備に関する規則に整合させることを確認する以下の決議を採択し、FDISの投票に向けた手続きを引き続き進めることになった。 The Subcommittee strongly supports the WG1 views and agreed to the decisions with regard to the CS comments and suggested revision of ISO/FDIS 18079 series as to ensure the consistency with IMO instruments, and instructed the Secretary to inform the CS on this decision in processing for FDIS ballot.	FDIS投票実施中 投票期限: 2017.10.23	—
SC1	ISO/FDIS 18079-5	Ships and marine technology -- Servicing of inflatable lifesaving appliances -- Part 5: inflated rescue boats	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第5部:膨脹式救助艇	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救助艇を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。【日本主導】 TC8/SC1/WG1(救命作業部会)ニューオーリンズ会議(2015年12月)において、日本がDIS投票で提出した意見が全面的に受け入れられた。 【補足】 ISO/TC 8/SC 1(2017年5月23-25日)において、中央事務局のコメントおよび改正提案に関し、IMOの救命設備に関する規則に整合させることを確認する以下の決議を採択し、FDISの投票に向けた手続きを引き続き進めることになった。 The Subcommittee strongly supports the WG1 views and agreed to the decisions with regard to the CS comments and suggested revision of ISO/FDIS 18079 series as to ensure the consistency with IMO instruments, and instructed the Secretary to inform the CS on this decision in processing for FDIS ballot.	FDIS投票実施中 投票期限: 2017.10.23	—
SC1	ISO 18813:2006	Ships and marine technology -- Survival equipment for survival craft and rescue boats	船舶及び海洋技術－生存艇及び救助艇の艙装品	1974年SOLAS条約(改正を含む)及びIMO救命設備コードに適合する生存艇及び救助艇の艙装品に係る設計、性能、使用方法について取り纏めたもの。また、乗組員及び管理者による定期点検、保守の指針についても記述している。	2006.04.01.	—
SC1	ISO/CD 19898	Ships and marine technology – Means of recovery of persons	船舶及び海洋技術－落水者の回収方法	落水者及び浮体構造物からの落下者を回収する計画及び手順に関する用語等について取り纏めたもの。 なお、附属書においては、方針声明に用いるサンプルフォーム、リスク評価に用いるフォーム、船員の回収及び訓練に関するガイドラインの計画及び手順に関するフォームについて取り纏めている。 2016年12月に締め切られたCD投票ではコメント付きで承認された。現在、次回審議に向けて、コメントに基づく改正案をPLが作成中である。	CD投票 可決 2016.12.02	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO/CD 19912	Ships and marine technology – Servicing of immersion suits, anti-exposure suits and constant wear suits	船舶及び海洋技術－イマーションスーツ、耐曝露スーツ及びコンスタント・ウェアスーツの整備要件	ISO 18079-1に関連し、イマーションスーツ、耐曝露スーツ及びコンスタント・ウェアスーツの整備要件を取りまとめたもの。	CD投票 可決 2017.07.06	
SC1	ISO/DIS 19897	Ships and marine technology — Marine evacuation systems — Condition of icing	船舶及び海洋技術－降下式生存艇乗込装置－氷結試験	IMOで作成したLSAコードの6.2.2.1項を補完するための降下式生存艇乗込装置の氷結試験について取り纏めたもの。	DIS投票 可決 2017.7.18	—
SC1	ISO/ 19891-1:2017	Ships and marine technology — Specifications for gas detectors intended for use onboard ships — Part 1: Portable Gas detectors for atmosphere testing of enclosed spaces	船舶及び海洋技術－船上における使用を目的としたガス検知器の仕様－第1部:閉鎖区域の気質を測定するための可搬型ガス検知器	船舶の閉鎖区域における作業従事者の安全確保のために、様々なガスを検知するために用いるマルチガス検知器の設計、製造、試験等について取り纏めたもの。我が国の意見を十分に反映した形で、2017年7月に制定された。	2017.07 制定	—
SC1	ISO19292:2014	Ships and marine technology -- Lifesaving and fire protection -- Point-type resettable flame detectors for ships	船舶及び海洋技術－救命及び防火－船舶用スポット型炎感知器	船舶用火災探知装置に使用されるスポット型炎感知器の要求事項、試験方法及び性能判定基準について取り纏めるもの。【日本主導】	2014.03.15	—
SC1	ISO/DPAS 21195	Lifesaving and Fire Protection – Systems for the Detection of Persons While Going Overboard from Ships (Man Overboard Detection)	救命及び防火－船上からの落水者(MOB)検知システム	船上からの落水者を検知するシステムの技術要件について取り纏めたもの。 【補足】 TC8/SC1総会(2016年5月24-26日)において、PAS(公開仕様書)の発行に向けた規格開発を続ける旨、以下の決議が採択された。 <i>SC1 resolves to assist the MOB standard group to meet intersessionally on a routine and recurring basis to progress this work as a PAS at best speed within 9 months and the standard itself on the 24 month schedule.</i>	CD/PAS投票 可決 2017.09.07	—
SC1	ISO/AWI PAS 22757	Ships and marine technology -- People localisation system for evacuation of passenger ships -- Incident management incorporating personnel localisation	船舶及び海洋技術-旅客船の避難の人の位置特定システム	人の位置特定システムは、ボディエリアネットワーク(体の表面、中およびそのごく近辺に配置されている小型端末を無線通信で結ぶことによって構築される無線ネットワーク)を用い、リアルタイムに人の位置を特定し、船上および船外の捜索救助中の追跡を可能にする人の位置特定システムをとりまとめている。 【補足】 TC8総会(2017年9月25-28日)において、PAS(公開仕様書)の発行に向けた規格開発を続ける旨、以下の決議が採択された。 <i>Resolution 356</i> <i>TC8 resolves that SC1 develop a PAS for ISO 22757, people localisation system for evacuation of passenger ships with a goal of publishing the PAS within 1 year to best meet industry need for safety of passengers on passenger ships.</i>	NP投票 可決 2017.8.9	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 23269-1:2008	Ships and marine technology -- Breathing apparatus for ships -- Part 1: Emergency escape breathing devices (EEBD) for shipboard use	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第1部:船上で使用する非常脱出用呼吸具(EEBD)	1974年SOLAS条約2000年改正第Ⅱ-2章D部及びIMO消防設備コード第3章において要求されている非常脱出用呼吸具(EEBD:危険な環境下で居住区域又は機関区域から脱出のに必要な酸素を供給する装置)の性能仕様について取り纏めたもの。	2008.02.01. 定期見直し投票終了 2016.12.05	—
SC1	ISO 23269-2:2011	Ships and marine technology -- Breathing apparatus for ships -- Part 2: Self-contained breathing apparatus for shipboard firefighters	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第2部:船上消防用自蔵式呼吸具	1974年SOLAS条約(改正を含む。)第Ⅱ-2章C部及びIMO消防設備コード第3章において船舶への設置が義務付けられている自蔵式呼吸具の仕様について取り纏めたもの。	2011.10.01. 定期見直し投票終了 2016.12.05	—
SC1	ISO 23269-3:2011	Ships and marine technology -- Breathing apparatus for ships -- Part 3: Self-contained breathing apparatus (safety equipment) required by the IMO IBC and IGC Codes	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第3部:IMO IBCコード及びIGCコードで要求される自蔵式呼吸具(安全設備)	IBCコード及びIGCコードにおいて要求されている自蔵式呼吸具の仕様について取り纏めたもの。	2011.05.01.	—
SC1	ISO 23269-4:2010	Ships and marine technology -- Breathing apparatus for ships -- Part 4: Self-contained breathing apparatus for emergency escape required by the IMO IBC and IGC Codes	船舶及び海洋技術－船舶用救命呼吸器－第4部:IMO IBC及びIGCコードで要求される非常脱出用自蔵式呼吸具	IBCコード14.2.8.2項及びIGCコード14.4.2.2項において要求される非常脱出用自蔵式呼吸具の性能仕様を提供するもの。なお、この装具は、消防作業、貨物取扱作業、炎への接近、進入を想定したものではない。	2010.10.15.	—
SC1	ISO 24408:2005	Ships and marine technology -- Position-indicating lights for life-saving appliances -- Testing, inspection and marking of production units	船舶及び海洋技術－救命設備用位置表示灯－製品ユニットの試験、検査及び表示	生存艇用室内灯を含め様々な救命設備に使用される位置表示灯の製品試験、検査及び表示に係る要求事項について取り纏めたもの。各国海事主管庁又はその代行機関により型式承認された位置表示灯に適用する。	2005.11.15.	—
SC1	ISO 24409-1:2010	Ships and marine technology -- Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings -- Part 1: Design principles	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第1部:設計原則	乗船者に安全に関する情報を提供するためのサイン、表示および警告のデザインの原則について取りまとめたもので、SOLAS条約第Ⅱ-2章第13規則3.2.5.1項及び第Ⅲ章第11規則第5項並びにISO 17631を補完するもの。なお、船上に備える図面や書類に使用する図記号は対象としていない。	2010/10/15	—
SC1	ISO/NP 24409-1	同上	同上	ISO 24409-2:2014及びISO 24409-3:2014に合わせた改訂作業中。 【補足】 ISO/TC8/SC1東京総会(2017年5月23-25日)において、DIS投票に移行するための決議が採択された。 <i>SC1 resolves to proceed DIS ballot for ISO 24409-1.</i>	CD投票省略のためのCIB(委員会内投票)が承認 2017.05.06 DIS投票準備中	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC1	ISO 24409-2:2014	Ships and marine technology -- Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings -- Part 2: Catalogue	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第2部:カタログ	船上の安全標識及び安全関係の警告の標準様式を取り纏めるもの。	2014.01.16	—
SC1	ISO 24409-2:201x	Ships and marine technology -- Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings -- Part 2: Catalogue	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第2部:カタログ	船上の安全標識及び安全関係の警告の標準様式を取り纏めるもの。 【補足】 ISO/TC8/SC1東京総会(2017年5月23-25日)において、マイナー修正を施すためのDIS投票の実施に関する決議が採択された。 SC1 resolves to continue to work with TC145/SC2, and expresses sincere appreciation to Mr. John Creak and Mr. Willem Heijboer for their continued support, to update ISO 24409-2:2014 and to work with IMO and ISO Central Secretariat to ensure that all documents referencing ISO 24409-2:2014 refer to the updated static document. The update to 24409-2:2014 will be sent to relevant ballot as soon as practicable for a final standard of 24409-2:2017.	DIS投票実施中 2017.11.12 投票期限	—
SC1	ISO 24409-3:2014	Ships and marine technology -- Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings -- Part 3: Code of practice	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第3部:実務要領	安全、火災制御関係の標識に関し、表示位置、大きさ並びに標識及びこれを補完するテキストの使用方法に関する指針を取り纏めるもの。	2014.01.16	—
SC1	ISO/NP 24409-4	Ships and marine technology — Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings — Part 4: Shipboard Plans for life saving, used for passengers and untrained crew	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第4部:乗客及び訓練を受けていない船員のための救命関連船上図記号	船上における一般の訓練を受けていない人員のための火災安全、避難、乗船及び救助に関する情報を含んだ、ミックサインの標識及び船上脱出計画の設計要件を取り纏めるもの。	NP投票に向けた準備中	—
SC1	ISO 27991:2008	Ships and marine technology -- Marine evacuation systems -- Means of communication	船舶及び海洋工学－降下式乗込装置－連絡手段	SOLAS条約第III章第6規則4.4項により要求される降下式乗込装置の乗込み口とプラットフォーム間母生存艇との間の連絡手段について取り纏めたもの。	2008.09.01.	—